【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成22年7月8日(2010.7.8)

【公開番号】特開2008-311690(P2008-311690A)
【公開日】平成20年12月25日(2008.12.25)
【年通号数】公開・登録公報2008-051
【出願番号】特願2007-154612(P2007-154612)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/232　(2006.01)
Ｂ２５Ｊ　19/04　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/232　Ｚ
Ｂ２５Ｊ　19/04
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成22年5月24日(2010.5.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項５】
請求項１乃至請求項４の何れかに記載の眼球運動制御装置において、
前記撮像手段は、一対の撮像装置からなり、
前記眼球駆動手段は、前記一対の撮像装置により撮像されるそれぞれの画像の所定位置に視標が含まれるように、前記一対の撮像装置のそれぞれを回転運動させ、
前記距離情報取得手段は、前記一対の撮像装置の回転角をそれぞれ計測する回転角計測手段からなり、前記一対の撮像装置間の距離とそれぞれの回転角を用いる、
ことを特徴とする眼球運動制御装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
さらに、撮像手段は、一対の撮像装置からなり、眼球駆動手段は、一対の撮像装置により撮像されるそれぞれの画像の所定位置に視標が含まれるように、一対の撮像装置のそれぞれを回転運動させ、距離情報取得手段は、一対の撮像装置の回転角をそれぞれ計測する回転角計測手段からなり、一対の撮像装置間の距離とそれぞれの回転角を用いても良い。